

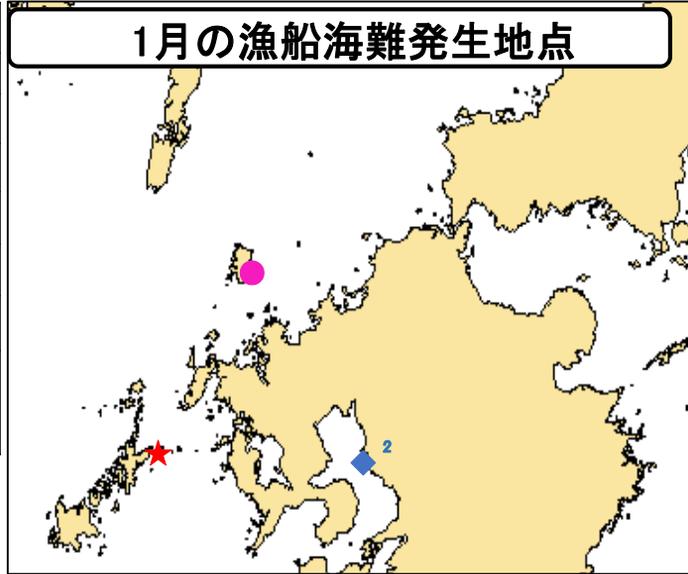
令和5年1月発生
七管内漁船海難 計4隻

令和5年1月累計 4隻 (前年11隻)
漁船海難発生隻数は前年に比べ **7隻減少**

漁船海難隻数 (速報値)		
衝突	★	1
火災	●	1
運航不能 (係留不備)	◆	2
合計 4隻 (昨年 8隻) 死亡、行方不明者: 0名		

	県別内訳	
	1月	令和5年累計
山口県	0	0(3)
福岡県	2	2(3)
佐賀県	0	0(1)
長崎県	2	2(3)
大分県	0	0(1)
合計	4隻	4隻 (11隻) ()は昨年同月

累計死亡・行方不明者数
0名 (令和5年1月末日現在)



知っていますか?? あなたの命を助けるかもしれない スマートフォン・スマートウォッチの緊急通報機能

●衝突事故検出機能

新しいスマートフォンには、「衝突時の衝撃や音声等を検出」して、使用者が衝突事故等に巻き込まれた可能性を認識、「自動で救助を要請」する機能を備えているモデルがあります。

●転倒検出機能

また、スマートウォッチにも、「使用者が転倒したことを検出」して、「自動で救助を要請」する機能を備えているモデルがあります。



実際に転倒して動けなくなった際に、自動で救助を要請する機能によって、命を救われた事例も多数あるようです。

●緊急SOS機能

新しいスマートフォンには、緊急通報が必要な際に「電源ボタンを素早く5回以上押す」などの操作をするとスマートフォンから緊急通報を行うモデルがあります。※OS・モデル・設定等によって操作は異なります。マニュアルや設定をご確認ください。

海に落ちた際は、濡れてスマートフォンの操作が困難になりますから、容易な操作で緊急通報できる緊急SOS機能は非常に有効だと思われます。もしもの時の備えに、使用方法などをご確認ください。

知らぬ間に・・・あなたのスマホで緊急通報！？

漁船で航行中に「ポケットの中に入れたスマートフォン」を誤操作して、**知らないうちに119番通報**してしまった事案が発生し、海上保安庁巡視艇・航空機、県防災ヘリが搜索活動を行いました。その後、船長と連絡がとれ無事が確認され、搜索は終了しました。

その他にも、118番(海上保安庁)・119番(消防)・110番(警察)への誤発信が相次いで発生しています。

こんな誤発信が多いです！

- ポケットやカバンの中に入れていたスマートフォンからの誤発信
- 子供に触らせていたスマートフォンからの誤発信
- 自動通報機能のあるスマートフォンが衝撃などで自動通報してしまった

もし間違えて通報してしまったら

緊急通報を受けた際、無言や応答がない場合は、発信者に折り返しの連絡を行います。その際は、「**間違えて通報した**」とお伝えください。その一言で私たちは安心します。

もし連絡がつかなかったら・・・

連絡しても応答がない場合は、最悪の事態を想定し、洋上であれば、巡視船等が動員し搜索救助に向かいます。

※位置情報などの関係から対応が異なる場合があります。

特に洋上ではエンジン音などで着信音が聞こえづらい場合がありますので、バイブレーション機能や着信時のライト点滅機能を設定して、着信に気付きやすい状態にしておきましょう。

誤発信を防ぐために！

このような誤動作や意図しない緊急通報を防ぐために、

- スマートフォンの画面ロック機能を使用する
- 折りたたみのスマートフォンカバーを使用する
- 小さな子供にスマートフォンを渡さない

などの予防策を行ってください。

また、自動通報機能付きのスマートフォンでは、衝撃を感知した際、自動で緊急通報を行うものがあります。自身の端末の設定を確認して、どのような状態で通報が行われるのか、しっかりと確認しておきましょう。

本当に救助が必要な方の為に ご協力をお願いします

～海の「事件・事故」は**118番**～